

## 試験に出る教皇と公会議 厳選18

1	名目上の初代教皇。12使徒の代表。ネロ帝のときローマで殉教。
2	実質的な初代教皇。フン族を撃退。ローマ教会の首位権を主張。
3	アングロ=サクソン七王国に宣教師を派遣。「グレゴリオ聖歌」
4	フランク王カールに帝冠を授与。「西ローマ帝国」復興を宣言(800)。
ヨハネス12世	ドイツ王オットーに帝冠を授与。「神聖ローマ帝国」成立(962)。
5	叙任権闘争。皇帝ハインリヒ4世を破門(1077 カノッサの屈辱)。
カリクトゥス2世	皇帝ハインリヒ5世とのヴォルムス協約(1122)で、叙任権闘争終結。
6	クレルモン公会議を開催。第1回十字軍(1096)を提唱。
7	第4回十字軍。英王、仏王、皇帝を破門。「教皇は太陽、皇帝は月」
8	仏王フィリップ4世と対立。アナーニ事件(1303)で憤死。
クレメンス5世	仏の圧力により教皇庁をアヴィニオンに移転(教皇のバビロン捕囚)。
アレクサンデル6世	大航海時代、スペイン・ポルトガルの世界分割を調停(教皇子午線)。
ユリウス2世	ルネサンスを保護。ミケランジェロにシスティーナ礼拝堂の壁画を依頼。
9	メディチ家出身。サン=ピエトロ大聖堂改築のため贖宥状を販売。
10	トリエント公会議を開催。イエズス会を認可。英王ヘンリ8世を破門。
11	ユリウス暦改定(1582 グレゴリオ暦)。日本の天正遣欧使節と謁見。
ピウス7世	ナポレオン政権と宗教協約(1801)。ナポレオン1世の戴冠式に出席。
12	ポーランド出身。「連帯」などポーランド民主化運動の精神的支柱に。

13	公会議(325)	コンスタンティヌス帝が開催。アリウス派を異端とする。
	コンスタンティノーブル公会議(381)	テオドシウス帝が開催。アタナシウス派を正統とする。
14	公会議(431)	ネストリウス派(のちの景教)を異端とする。
15	公会議(451)	単性説(のちのコプト教会)を異端とする。
16	公会議(1095)	教皇ウルバヌス2世が開催。第1回十字軍の派遣を決定。
17	公会議(1414)	教会大分裂(大シスマ)を再統一。フスを異端とし、火刑に。
	フィレンツェ公会議(1438)	メディチ家が開催。オスマンに対抗、正教会との和解を図る。
18	公会議(1545)	教皇パウルス3世が招集。ルター派は出席拒否。

<sup>1</sup>ペテロ <sup>2</sup>レオ1世 <sup>3</sup>グレゴリウス1世 <sup>4</sup>レオ3世 <sup>5</sup>グレゴリウス7世 <sup>6</sup>ウルバヌス2世 <sup>7</sup>インノケンティウス3世  
<sup>8</sup>ボニファティウス8世 <sup>9</sup>レオ10世 <sup>10</sup>パウルス3世 <sup>11</sup>グレゴリウス13世 <sup>12</sup>ヨハネス=パウロ2世 <sup>13</sup>ニケーア  
<sup>14</sup>エフェソス <sup>15</sup>カルケドン <sup>16</sup>クレルモン <sup>17</sup>コンスタンツ <sup>18</sup>トリエント

## 試験に出るイギリスの首相 厳選18

1	自	初代首相。国王ジョージ1世に代わり、閣議を主宰。
2	保	フランス革命に干渉。対仏大同盟(1回～3回)を提唱。
カ ッ ス ル レ ー	保	外相。ウィーン会議に参加。四国同盟を結成。
3	自	第1回選挙法改正で、産業資本家に選挙権、腐敗選挙区廃止。
4	自	外相。ラテンアメリカ諸国の独立を支持。
5	自	外相。エジプト・トルコ戦争に介入、アヘン戦争を指導。
6	保	ジャガイモ飢饉に際し、穀物法を廃止。
7	保	第2回選挙法改正で、都市労働者に選挙権。
8	保	ベルリン会議に参加、スエズ運河株を買収、インド帝国建国。
9	自	第3回選挙法改正、アイルランド土地法、教育法。
10	自保	植民相。アフリカ分割、ボーア戦争を指導。
ア ス キ ス	自	議会法(下院の優越)。WWIに参戦。
11	自	パリ講和会議を指導。アイルランド自由国を承認。
12	労	初の労働党内閣。ソ連を承認。恐慌時には挙国一致内閣。
ボ ー ル ド ウ ィ ン	保	対独融和政策。英独海軍協定でドイツ再軍備を容認。
13	保	対独宥和政策。ミュンヘン会談、WWIIに参戦。
14	保	大西洋宣言、カイロ会談、ヤルタ会談、WWIIに勝利。
15	労	インド独立。主要産業の国有化。「揺りかごから墓場まで」の高福祉。
16	保	ジュネーヴ4巨頭会談。スエズ戦争で敗北。
ウ ィ ル ソ ン	労	国营企業の非効率、高福祉による財政破綻(英国病)の深刻化。
ヒ ー ス	保	EC(欧州共同体)加盟。
17	保	国营企業の民営化。香港返還協定。フォークランド紛争。「鉄の女」
18	労	9.11テロ後、米国と協調しイラク戦争に参戦。北アイルランド自治。
ブ ラ ウ ン	労	金融危機に対処。

1ウォルポール 2ピット 3グレイ 4カニング 5パーマストン 6ピール 7ダービー 8ディズレーリ 9グラッドストーン

10J(ジョゼフ).チェンバレン 11ロイド=ジョージ 12マクドナルド 13N(ネヴィル).チェンバレン 14チャーチル

15アトリー 16イーデン 17サッチャー 18ブレア

試験に出るフランスの政治家 厳選20

ブルボン朝	1	ルイ 13 世の宰相。三部会の招集停止。三十年戦争に介入。
	2	ルイ 14 世の宰相。フロンドの乱を鎮圧。ウェストファリア会議を主導。
	3	ルイ 14 世の財務総監。事実上の宰相。重商主義政策を展開。
	4	ルイ 16 世の財務総監として財政改革。重農主義者ケネーの弟子。
	5	ルイ 16 世の財務長官。特権身分への課税を画策、三部会招集。
	6	ナポレオン、復古王政の外相。ウィーン会議で正統主義を提唱。
	ポ リ ニ ャ ッ ク	復古王政の首相。シャルル 10 世の七月勅令を起草、七月革命を招く。
	7	七月王政の首相。改革宴会を弾圧、二月革命を招く。歴史家。
第三共和政	8	第二共和政(臨時政府)の外相。共和派の代表。ロマン主義詩人。
	9	臨時政府の労働相。国立作業場を創設、六月暴動の原因を作る。
	10	第三共和政の行政長官、大統領。独と講和、パリ=コミュン弾圧。
	11	ドレフュス事件で活躍。首相としてWWIに勝利、パリ講和会議を主催。
	12	大統領、首相。対独強硬派。ベルギーとともにルール占領を行う。
	13	首相・外相。国際協調派。ロカルノ条約、ルール撤兵、不戦条約。
	14	社会党の首相。人民戦線内閣を組織。スペイン内戦には不干渉。
	15	首相。対独宥和政策。英のチェンバレンと共にミュンヘン会談に出席。
	16	WWIIで独に敗北。ヴィシー政府の主席として対独協力。戦後、逮捕。
	17	英のイーデンと共にジュネーヴ四巨頭会談出席。スエズ戦争で敗北。
第五共和政	18	WWII中、ロンドンに自由フランス政府樹立。アルジェリア戦争を機に、第五共和政の初代大統領に。NATO 軍事機構を脱退、独自の核開発。
	19	社会党初の大統領。大企業の国有化、社会保障の拡大。
	20	ド=ゴール派の大統領。核実験再開。イラク戦争に反対、米・英と対立。
		サ ル コ ジ

1リシュリユー 2マザラン 3コルベール 4テュルゴー 5ネッケル 6タレーラン 7ギゾー 8ラマルティエヌ  
 9ルイ=ブラン 10ティエール 11クレマンソー 12ポワンカレ 13ブリアン 14ブルム 15ダラディエ 16ペタン  
 17フォール 18ド=ゴール 19ミッテラン 20シラク